

2023年10月4日

報道関係者各位

福井コンピュータ株式会社

## BIM/CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」が 『土木基本 IFC 検定 2022』の認証を取得

～高度な BIM/CIM データ連携を実現し、施工管理における 3D モデル活用の普及促進へ～

建設業向け CAD メーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）が開発・販売する BIM/CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」が、国土交通省が発注する BIM/CIM 活用業務・工事で使用が義務化されている“IFC フォーマット”（以下、IFC）の精度を審査する『土木基本 IFC 検定 2022』（検定区分：入力・出力、制限事項無し）の認証を取得しました。

本検定の認証取得で、認証ソフトウェア間における高度な BIM/CIM データ連携を可能にし、設計段階で作成した 3D モデルを施工段階で活用する場合でも高度な互換性で再現することができます。また、3D モデルに含まれる属性情報を、数量算出や品質管理、維持管理に活用できるなど、施工管理における 3D モデル活用の幅を広げることができ、BIM/CIM 活用業務・工事において信頼と安心の作業環境を提供します。

### ■ 『土木基本 IFC 検定 2022』について

平成 29 年度から国土交通省の BIM/CIM 活用業務・工事において採用されている IFC は、建築・土木分野における BIM の情報連携で用いるデータ形式の国際規格で、一般社団法人 buildingSMART Japan<sup>※</sup>が、IFC の書き出しおよび読み込みに関連するソフトウェアの機能を審査する制度として「IFC 検定」を実施しております。

今回認証取得した『土木基本 IFC 検定 2022』は、国内における IFC の更なる互換性向上を目的に、これまでの要件としていた「土木モデルビュー定義 2018」をより厳格化した「土木モデルビュー定義 2022」の要件対応を審査するものとなっており、この検定の認証取得が、今後の BIM/CIM で活用するソフトウェア選定の指標とされています。

<sup>※</sup>建設業界におけるデータの共有化および相互運用を目的として、IFC ファイルの策定や標準化活動を行う国際的な団体 bSI の日本支部 略称：bSJ



TREND-CORE

【入力検定認証】

【出力検定認証】



bSJ & JACIC  
IFC2x3  
CVL02-22-i-01



bSJ & JACIC  
IFC2x3  
CVL02-22-e-01

### 【認証取得日】

入力検定：2023年7月24日 CLV02-22-i-01（制限事項無し）

出力検定：2023年9月13日 CLV02-22-e-01（制限事項無し）

<sup>※</sup>認証ソフトウェアの一覧と制限事項など詳細は（一社）buildingSMART Japan サイト（<https://www.building-smart.or.jp/ifcc/software.html>）にてご確認いただけます。

### 【価格】

¥600,000～（税別）

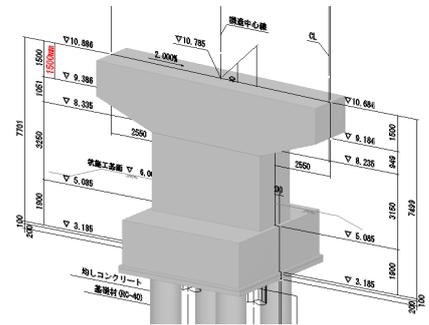
<sup>※</sup>「土木基本 IFC 検定 2022」対応版は、Ver.9.1（2023年10月提供版）以降となります。

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業部 営業推進課 担当：牧野  
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>  
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

## ■ 検定の認証取得によるメリット等について

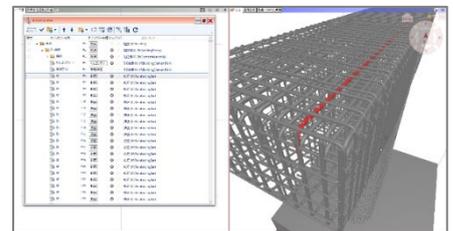
### 1. BIM/CIM の進化に向けて 3D モデル（形状・属性等）の高度な互換性を実現

BIM/CIM 原則化に伴い BIM/CIM 活用業務・工事では 3D モデルの活用が義務付けられています。「TREND-CORE」は、IFC において国内最高レベルの互換性を実現したことで、BIM/CIM 活用業務・工事に安心してご利用いただける環境を提供します。施工向けのソフトウェアでありながら設計時の 3D モデルを高度な互換性にて取り込みが可能で、BIM/CIM の目的である 3D モデルを活用した正確で安全な施工を支援します。また、図面と 3D モデルを重ねて表現できるため、発注データの照査に活用できるほか、設計変更箇所の抽出や変更協議時の合意形成に必要となる、伝達力と理解力向上に効果を発揮します。



### 2. 「3次元モデル成果物作成要領」に対応し、日本標準の BIM/CIM 成果物作成が可能

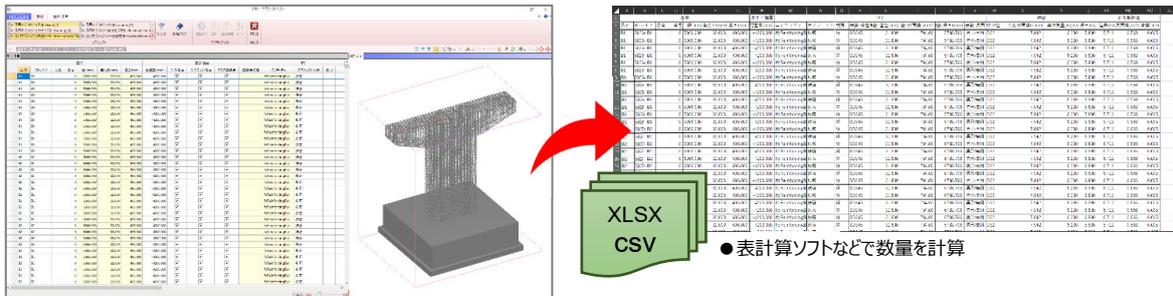
BIM/CIM モデル作成のガイドラインである「3次元モデル成果物作成要領」に対応しました。成果物の作成に必要な階層構造や属性情報を設定する際は、要領に例示された階層構造に沿った「BIM/CIM テンプレート」を利用することで、要領に準拠した BIM/CIM モデルの作成が可能です。また、複数の 3次元モデルを選択し一括で階層への割り当てが可能のため、従来と比べ作業時間を大幅に削減できます。



出典：buildingSMART Japan

### 3. 3D 形状による見える化から 3D モデルによる施工管理と現場支援へ

IFC ファイルでは 3D 形状だけでなく属性情報が付加されるため、3D モデルを活用した施工における数量算出、品質管理、維持管理に向けた情報付加などが可能となります。モデルに付加された属性情報は各オブジェクトの種類ごとにリスト表示できます。IFC で表現されているモデルには、部材毎に名称や種別、数量に関する情報を入力することで、表示されたリストを Excel や CSV ファイルに出力し、数量算出や提出書類の作成に活用できます。



●部材リスト：名称や種別、数量に関する情報

出典：buildingSMART Japan

また現場支援として、取り込まれた 3D モデルは現地調査、現地での設計確認や検査にも活用可能です。



●設計照査や検査での活用



●AR を利用した現地確認

AR データ提供：一般国道 5 号 仁木町 2 番地通橋下部工事  
請負者：阿部建設株式会社

以上